

平成 27 年度
(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会
第 2 回理事会

日時 平成 27 年 6 月 6 日 (土)
午後 1 時 00 分～午後 3 時 00 分
場所 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

平成 27 年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第 2 回理事会

日 時 : 平成 27 年 6 月 6 日(土) 午後 1 時 00 分～午後 3 時 00 分

場 所 : 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

出席者 : 現在役員数 20 名（理事 18 名・監事 2 名）

三宅和秀 鈴木雅人 藺田明広 山口浩司 稲村義男
三原利仁 山田哲司 杉澤きよ美 井川千春 市川千津子
新村喜明 清水憲雄 伊藤喜章 豊田次郎 川口貴子
梶間弘美 都築農夫志（書記） 榛葉智之 渡辺時治（監事）
（18 名／全 20 名中 うち理事 17 名／全 18 名中）

欠席者 : 加藤智行

議長及び議事録記名人選出

議 長 三宅和秀
議事録記名人 鈴木雅人 藺田明広 山口浩司
榛葉智之 渡辺時治（監事）

議題

1. 前回議事録確認
2. 日臨技総会（P 1～）
3. 女性管理者育成セミナー（P.5）
4. 後援・ホームページ対応（P 6 ～）
5. 新会員管理システム（P.8 ～）
6. 部局報告
 - ・事務局（P 10 ～）
 - ・学術部（P 29 ～）
 - ・組織部（P 36 ～）
 - ・会計部（P.40～）
 - ・広報部
7. 日臨技関連（P 48 ～）
8. 中部圏医学検査学会（別紙）
9. その他
 - ・新入会承認・会員異動
 - ・予定表

次回理事会（平成 27 年 6 月 30 日 書記：市川理事）

議題

1. 前回議事録確認（伊藤事務局長）

- ・平成 27 年度第 1 回常務理事会および第 1 回理事会の議事録が本日、全員分の署名捺印により完成した。

2. 日臨技総会（三宅会長、山口副会長、伊藤事務局長）

- ・今回、電磁的媒体を主とした議決権行使の周知・協力要請をした結果、中部圏全体では総会員の 2/3 以上の投票率（富山：80%超、愛知：66%未満、静岡：約 75%）を達成。
- ・日臨技総会は成立したが、定款変更議案については総会員議決権の 2/3 に満たなかった。新たな議案提出も控えており、改めて協力をお願いしたい。

3. 女性管理者育成セミナー（伊藤事務局長、市川理事）

- ・昨年設立された日臨技組織強化ワーキングの活動として、昨年の「ニューリーダー育成セミナー」に引き続き、今年は「女性管理者育成セミナー」を開催予定。
- ・静臨技としてもバックアップする方向で、静臨技の出張扱いとして会員 2～3 名の派遣も検討。決定事項は後日報告。

4. 後援・ホームページ対応（伊藤事務局長）

- ・日本消化器画像診断情報研究会より静岡大会の後援依頼あり。→ 承認
- ・静岡大会のポスター・バナーの静臨技ホームページへの掲載依頼もあるが、掲載方法について返答待ち。

5. 新会員管理システム（伊藤事務局長、豊田会計部長）

- ・平成 27 年 5 月 16 日開催の日本医学検査学会（福岡）にて新システムの説明会があり、数名が参加。
- ・現システムと使用方法に変更点あり。操作マニュアルは、豊田会計部長と静臨技事務所にて保管。

6. 部局報告

1) 事務局（伊藤事務局長）

- ・平成 27 年 5 月 27 日付で中部圏学会 演題募集期間延長のお知らせを発行。6 月 6 日時点で演題数 136 題。
- ・静岡市衛生検査所精度管理専門委員会委員推薦について、大石和伸 氏を推薦。

- ・「災害感染症対策セミナー in SHIZUOKA 2015」について、技師会として後援。
- ・平成 27 年度静岡県知事表彰、平成 28 年度春の叙勲・褒章の候補者推薦について、該当者なしとして静岡県健康福祉部長へ返答。ただし今後、先輩方の中から候補者推薦することを検討。
- ・静臨技事務所に保管されていた個人情報掲載文書類の溶解処理が完了。依頼先のヤマト運輸より「溶解完了証明書」が届いた。今後も同様に管理していく予定。
- ・富士市薬剤師会検査所より指導監督医変更の届け出について問い合わせあり。過去の慣例を施設総務と照合して対応するよう助言。
- ・NPO 法人日本血栓症協会より浜松市民公開講座（2 月 21 日 開催）の後援事業報告書、静岡県立総合病院より「遺伝子診療科」開設記念講演会（6 月 4 日 開催）のお知らせ、国際医療福祉大学熱海病院より病院長交代の挨拶状が、それぞれ届いている。
- ・静岡県寄生虫研究会より、研究会解散（世話人代表者 退官のため）のお知らせあり。9 月 12 日の第 20 回会議をもって解散となるため、菌田副会長が参加予定。
- ・ヴィラセイユ稲川管理組合より定期総会開催の案内あり。委任状の提出のみの対応とする。
- ・日本糖尿病療養指導士認定機構より、認定更新における研修単位取得の依頼通知あり。研修会参加者に不利益がないよう点数付与できる体制を整備する。点数付与する登録団体を再整理し、2 年毎（6 月末締め）の登録更新制に。

2) 学術部（菌田副会長）

- ・臨床生理部門役員選考に関する案内を、部門長より各施設長あてに発行。1 施設 2 期 4 年の任期で各地域基幹病院の持ち回りでの運用。
- ・平成 27 年度の部門役員、精度管理委員会実務委員、データ標準化委員会委員、基幹施設代表者について、それぞれ昨年度から一部変更点あり。

3) 組織部

①各種表彰の候補者推薦について（山口副会長）

- ・平成 28 年度春の叙勲・褒章候補者、臨床検査医学研究振興基金 受賞候補者、藤田光一郎賞顕彰候補者について、各支部にて対象者の有無の調査の結果、候補者なし。

②会員名簿作成について（山口副会長）

- ・7 月 1 日現在の JAMTIS データで、会員名簿を作成。8 月 1 日発刊を目途に、作業を進める。
 - a) 平成 27 年度支部役員：各支部で選任のうえ「支部長」より提出。
 - b) 精度管理委員会実務委員：「学術部門」より提出。

- c) 臨床検査データ標準化委員・医師会精度管理委員会委員は「学術部門」より提出。
- d) 学術部門役員は「学術部門」より提出。
- e) 正会員（東部・中部・西部）は「組織部」にて JAMTIS より抽出し、各支部長にて確認・返信。
- f) 名誉会員・役員、役員候補者選考委員、賛助会員、組織図、各種手続き、広報欄は「事務局長、会計部長、静臨技 磯部さん、組織部」にて整理

- ・ 広告申し込みは、昨年と比較して減少傾向（2015/5/25 現在：13 社）
- ・ 名簿作成費用は、約 20 万円/700 冊（2014 年度と同等）の予定。

③ 求人情報について（杉澤理事）

- ・ 2015 年度、4 月 0 件、以降 6 月 4 日現在、求人情報掲載 6 件と削除依頼（採用決定後）1 件

④ 静臨技ホームページの管理運用について上申（山口副会長）

- ・ 静臨技組織運営規定に則り、静臨技ホームページの管理運用を組織部から、渉外広報部および都築理事（ホームページ担当）に移行していきたい。

⑤ 日本臨床検査技師連盟の活動報告（山口副会長）

- ・ 連盟加入者数は 5 月末現在で、1,545 名（うち静岡県 216 名で最多）。
- ・ 検査技師に関する議員立法などの観点から重要であり、是非協力いただきたい。

⑥ その他

- ・ 特記事項なし

4) 会計部（豊田会計部長）

- ・ 県サーベイに係る検体作成・解析費として県医師会より、日臨技定時総会議決権行使書回収委託費として日臨技より、会費（3・4 月締め分）として日臨技より、生涯教育推進研修会助成金（4/25 実施 第 1 回臨床血液部門研修会）として日臨技より、それぞれ入金あり。
- ・ 平成 27 年度助成金について、日臨技より通知あり。一部変更点があるが、助成額は例年とほぼ同様の見込み。
- ・ 研修会助成金について、「開催 1 ヶ月前までの申請 かつ、終了 1 ヶ月後までの報告完了をもって助成対象とする（日臨技）」となっているが、県内の事務手続きの関係で、「2 ヶ月前までの申請、終了 2 週間後までの報告完了」とする。
- ・ 「検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会」助成金（20 万円/1 開催）が来年度までである。来年 6 月開催予定の東部の会場が使用不可となったため、担当者と日程調整中（7 月後半で調整中）。

5) 広報部（鈴木副会長）

- ・今まで会報を1,600部作成していたが、6月号より50部追加して作成。
- ・平成27年度会報の会員投稿について、8月号より毎月の担当者を決定。

7. 日臨技関連（伊藤事務局長）

- ・日臨技より、各種講習会の実施要項、検査データ標準化事業、全国役員名簿作成に関する通知あり。
- ・日臨技より平成27年度全国「検査と健康展」実施に関する通知あり。今年もメディメッセージ（11月21・22日 浜松）と同時開催の予定。申請書類作成は山田常務理事が担当し、日臨技事務局へ提出する。

8. 中部圏医学検査学会

1) ディスタンスさんとの検討事項について（山口学会実行委員長）

- ・学会各会場レイアウト、会場案内板が提示された。
- ・展示ブースの仕様などについて、各出展企業に提示。
- ・ポスター、抄録表紙デザインが決定。2,500枚で印刷発注。
- ・教育講演の演者が、FDA会長 鈴木与平氏からFDA社長 須川恒次氏に変更。

2) 演題申し込みについて（菌田学会事務局長、三宅会長）

- ・6月6日現在で演題応募総数140題。プログラムの都合上、最大150題程度が限界のため、演題募集期間の締切延長を繰り上げ（締切日6/13を6/10に）。

3) 展示場利用について（鈴木広報部長）

高校生向け進学支援ガイダンス実施案について

- ・内容はポスター展示、養成機関によるガイダンス、施設見学、ミニ講座を予定。同時間帯にカフェスイーツセミナーがあるため、これと重ならぬよう、ミニ講座をやや早めの時間に設定。
- ・ミニ講座は1枠10分（発表7分 質問3分）で、静岡医療科学専門学校鈴木先生と、フクダ電子の方を講師として依頼。病院勤務者の講師は未定だが、静岡市内の方を予定。施設見学は最大3班で1班につき30分（うち見学20分）の予定。
- ・ミニ講座、ガイダンスは26日（土）のみ、ポスター展示は2日間実施。
- ・静岡医療科学専門学校より、学生参加と出展の希望あり。学生は参加費無料とし、展示ブースも提供する。

4) 抄録作成進捗について（三原学術部長、三宅会長）

- ・日臨技より企画（宮島会長講演10分、ディスカッション20分）の打診あり。26日（土）第1会場の「部門企画」枠で調整。

5) 総務関連対応について（山口学会実行委員長、三宅学会長）

- ・ 中部圏支部学会における後援名義の使用承認を、県病院協会、県医師会、静岡県、静岡市、県教育委員会に依頼。県医師会と静岡市からは後援名義使用を承認いただいている。
- ・ 学会開会式に列席予定の（株）スズケン様、協和医科器械（株）様について、列席者の変更あり。三宅学会長が確認中。

6) タイムスケジュールと役割について（新村理事）

- ・ ディスタンスさんより人員配置の概算が提示された。県中部支部がメインとなって人員を確保し、新村理事が役割を分担する。

7) その他

- ・ 今学会は、中部6県の各技師会会長が学会役員に加わり、主催は日臨技と日臨技中部圏支部、担当技師会は静岡県として開催される。

9. その他

- ・ 4～5月の新入会、会員異動について。→ 承認
- ・ 6～8月の行事予定について。→ 承認

以上

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 三宅 和秀

氏名 _____ 印

議事録記名人

鈴木雅人 藺田明広 山口浩司 榛葉智之 渡辺時治

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印